

地球のワクワク！発見しよう

～私が主役！なかまと一緒にみらいを作る～

こどもエコクラブ 2025年度事業実施報告書



公益財団法人日本環境協会

こどもエコクラブ全国事務局

<後援 環境省>



目次

■ はじめに	2
■ こどもエコクラブのミッション・ビジョン	3
■ 2025年度のトピックス	4
■ 事業報告	6
□ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり	6
(1) こどもエコクラブの認知度向上	6
(2) こどもエコクラブへの登録促進	11
□ 環境活動・学習の活性化促進	12
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	12
(2) 教材・プログラムの提供	12
(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック	15
(4) 企業・団体との連携および協働の推進	18
(5) ユース世代との連携	20
□ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	21
(1) 地域の活動活性化に向けたサポート	21
(2) 全国規模での交流と顕彰	22
(3) 他団体からの表彰	24
(4) アンケートによる子どもたちの成長の把握	25
■ 地域事務局の取組事例	26
■ ご支援いただいた企業・団体	29
■ 登録データほか	30
■ 全国エコ活コンクール 受賞作品	34
■ こどもエコクラブ 30周年記念展示パネル 「全国フェスティバル 30年のあゆみ」	37

はじめに

2025年度は、2030年のSDGs達成に向けた後半戦の重要な局面にあたり、これまで以上に具体的な行動の加速が求められる年となりました。夏の熱中症搬送人員数が過去最多になるなど、気候変動による影響が日常生活に深刻な状態をもたらし始めており、加えて生物多様性の損失、資源循環など、私たちを取り巻く環境課題は依然として深刻となっています。課題解決に向けては一人ひとりの意識にとどまらず、実践を伴う取組の広がりが不可欠となっています。

こうした中、こどもエコクラブでは、2025年度は2,446クラブが登録、95,466人の子どもたちが全国各地で主体的に環境活動に取り組み、継続的なアクションによりその輪を着実に広げてきました。生き物観察、自然保全活動、資源循環や脱炭素に関する取組など、子どもたちの関心から生まれた活動は、子どもたち自身の学びにとどまらず、家庭や地域へと広がりを見せています。子どもたちの発信や行動が周囲の大人や仲間を巻き込み、地域の環境意識や行動の変化につながる事例も多く見られるようになりました。

また、企業・団体、自治体との連携も一層深化し、多様な主体が協働することで活動の質と広がりが高まっています。こうしたつながりの中で育まれる子どもたちの主体性や行動力は、持続可能な社会の実現に向けた大きな力となっています。

2025年度にこどもエコクラブは30周年を迎え、延べ300万人を超える子どもたちの主体的な環境活動を支援してきました。その積み重ねにより育まれてきた「自ら考え、行動し、周囲に働きかける力」は、これからの社会を担ううえでますます重要性を増しています。SDGs達成に向けたラストスパートの時代において、こうした力を持つ子どもたちの存在は、社会全体の変革を後押しする原動力となるでしょう。

今後も、多様な組織や人との連携のもと、全国のクラブ活動を支援するとともに、子どもたちの学びと実践の機会を広げ、その輪をさらに大きくしてまいります。

引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人日本環境協会こどもエコクラブ全国事務局

2026年4月

こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることが目的として、幼児（3歳）から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

ビジョン（＝理想の未来）

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

ミッション（＝なすべきこと）

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

上記のビジョン・ミッションの下、継続的に

- 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり
 - 環境学習・環境活動の活性化
 - 環境学習・環境活動の意欲の向上・ステップアップ
- の3つの柱を掲げて、様々な活動に取り組んできました。



2025 年度のトピックス



■ みんなの想いを未来につなぐ！ 30 回目の全国フェスティバル

記念すべき 30 回目となる全国フェスティバルにあたり、これまでの全国フェスティバルの実施内容をまとめた記念展示を行ったほか、未来の地球に向けたメッセージを集めるプログラムを企画、クラブはもちろん当日サポートしてくれたユースや企業団体の皆さんにも参加を呼びかけました。また、クロージングではこどもエコクラブ卒業生へのインタビュー動画「自分にとってこどもエコクラブとは」を上映し、こどもエコクラブを通じて身に付いた力や地域や環境、後輩たちへの想いを会場の皆さんにお伝えしました。

熱心に活動するクラブが日頃の活動や地域環境への思いを発信しあう「エコ活セッション」では、例年にも増してクラブの熱気が満ち溢れており、全国から集まったメンバーたちは堂々とした発表や質疑応答に加え、合間を見て手作り名刺を積極的に交換しながら交流を深めていました。また、企業団体に環境や SDGs への取り組みを紹介いただくブースも大盛況で、子どもたちはクイズや体験プログラムを楽しみながら新しい発見と学びを通して大人や社会の環境保全に向けたパワーや最新技術を実感し、これからの活動の継続意欲を高めていました。この形での全国フェスティバルは今回をもって終了し、今後は地域での交流会を軸とした新たに展開していく予定です。



■ クラブが大活躍！ホストとして一般の子どもたちの活動をサポート

こどもエコクラブのような自然体験を、様々な家庭の事情を抱えている子どもたちにもしてほしいという個人寄付者の要望を受け、貧困と教育格差の解消等に取り組む認定 NPO 法人キッズドアの子どもたちを、活発に活動している逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市)の活動フィールドにご招待しました。初めて参加するキッズドアの子どもたちをクラブのメンバーやユースが優しくサポートしてくれ、みんなで楽しく千波湖の生き物調査を行いました。生き物採取のコツや魚の名前を教えてくれるメンバーやユースたちにキッズドアの皆さんは大感激！自然観察の楽しさに加え、クラブの活動で身に付いた力を周りにアピールしてくれました。



■ サポーターのスキルアップを応援！ 大人向け研修会を実施

日頃の活動のフォローはもとより、メンバーに寄り添い子どもたちの大きな支えとなっている重要ポジションのサポーターを対象に「子どもの環境活動を支える大人のスキルアップ講座」を開催しました。子どもたちに関心の高い自然観察のコツやマイクロプラスチックなど最新の環境情報等、すぐに見えるものから近年のトレンドを織り交ぜ、全国各地から参加できるオンライン講座と現場での体験を通して学べるフィールド講座を実施しました。それぞれのテーマの専門知識や実績が豊富な講師のお話はどれも大変面白く、子どもたちの興味を引き出す説明の仕方や活動の際の安全管理、プログラム企画のノウハウなども紹介いただき、まさに「明日から使える」、ためになるものばかりでした。フィールド講座では参加者同士の自己紹介で、すぐに和気あいあいの雰囲気になり！日頃から子どもたちと活動しているだけあって、参加者はみんな好奇心旺盛に講師の話に耳を傾けていました。

クラブの活動の発展・充実にはサポーターの力が不可欠です。2026年度も本研修を引き続き実施し、サポーターを継続的に支援してまいります。



■ 「大阪・関西万博」で、こどもエコクラブのパワーを発信



2025年のビッグイベント「EXPO 2025 大阪・関西万博」では、各地のクラブが日々の活動や環境への想いを様々な形で世界にアピールしました。7月に大阪ヘルスケアパビリオンのステージで大阪府知事を前に前年度のエコ活コンクール受賞クラブが活動を発表（大阪府主催）したほか、9月にEXPOホールの気候変動アニメ教材の上映会のステージで著名人と共に近畿圏のクラブが登壇してエコアクション宣言をしたり（NHKエンタープライズ主催）、会場内サステナドームでは過去のエコ活コンクールで集まった全国各地のクラブの壁新聞をデジタルで常設展示したりして、こどもエコクラブの元気な活動の様子を広く発信しました。

また、個々のクラブでも普段の活動の一環として日頃から連携している団体のワークショップを手伝ったり、ごみをリサイクルして作ったアート作品を展示したりなど思い思いに万博に参加して、未来の地球への想いや環境保全の大切さをアピールしました。



事業報告

■ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり

(1) こどもエコクラブの認知度向上

➤ ウェブサイト、SNSを通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2025年度の合計ページビュー：482,698PV

2025年度の合計訪問者数：152,144ユーザー

並行して Facebook や X など、SNS を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。

- Facebook フォロワー：1,360人
- X (各地域担当別) 合計フォロワー数：2,970人
- Instagram フォロワー：562人

(いずれも 2026年3月末現在)

➤ 外部メディアの活用

株式会社アドバコムが発行する「エコチル」の電子版(45府県版)と連携し、全国のクラブの活動報告を月一回掲載、子どもたちの熱心な活動や事業の意義を広く発信しています。また、こどもエコクラブの活動が地域の環境保全だけでなくSDGsの達成にも貢献していることをアピールして、クラブとの協働や支援がSDGsの推進の一環につながることを多様なステークホルダーに向けて訴求しています。



活動や事業のトピックスについて、適宜環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブへの投げ込みやプレスリリース配信サービスによるリリースを行いました。地域のクラブの活動の様子を中心に各紙・メディアに取り上げられました(主なものを抜粋)。

日付	メディア名	記事タイトル(掲載クラブ)
2025年4月4日	毎日新聞	壁新聞で全国コン入賞(MIYASHIRO☆エコスターズ:埼玉県宮代町)
2025年4月13日	琉球新報小中学生新聞「りゅうPON!」	大地の恵み 食べて学ぶ(はなぞのエコクラブ:沖縄県那覇市)
2025年4月20日	新潟日報	親子3人で環境活動、魚沼市の「三ツ星エコクラブ」壁新聞で文部科学大臣賞受賞!森づくりイベント提案(三ツ星エコクラブ:新潟県魚沼市)
2025年6月3日	中日新聞	自然舞台にゲームを楽しむ 岐阜市こどもエコクラブ(岐阜市こどもエコクラブ:岐阜県岐阜市)
2025年6月3日・6日	茨城新聞	センター拠点に活用 命のゆりかご~酒沼ラムサール登録10年~(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2025年6月13日	FBS 福岡放送	「優&舞のもっと!知つく!ふくおか」出演(ぶらぶらあぶらクラブ:福岡県福岡市)
2025年6月18日	陸奥新報	川の水質、生き物は HEP21 エコクラブ児童ら楽しみ調査(HEP21 エコクラブ:青森県弘前市)
2025年6月24日	中日新聞	トビハゼ、元気に成長してね 半田で市民グループが干潟の清掃、放流(半田こどもエコクラブ:愛知県半田市)
2025年6月30日	滋賀県甲賀市ケーブルTV	「まちかど KOKA デイリー」山内エコクラブ万博出展(山内エコクラブ:滋賀県甲賀市)
2025年7月4日	大分合同新聞	JR 別府駅前で園児が節電を呼びかけ 通行人に啓発グッズ配布(やまなみこどもエコクラブ:大分県別府市)
2025年7月25日	茨城新聞	偕楽園 ヘイクボタル放つ 小中生、定着願い込め(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2025年8月21日	釧路新聞	ウチダザリガニ生態知って 24日に捕獲、試食体験(こどもエコクラブくしろ:北海道釧路市)
2025年9月8日	長野日報	諏訪湖の微小プラ調査(岡谷こどもエコクラブ:長野県岡谷市)
2025年10月9日	沖縄タイムス	ピカピカ南城へ海岸清掃 小中高生グループ呼びかけ(ECOHONU:沖縄県南城市)
2025年10月10日	有明新報	園児が満面の笑み TAKARA 幼稚園初めてバナナを収穫(認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ:福岡県大牟田市)
2025年10月28日	山口新聞	リサイクル、分別の大切さ学ぶ 下松市こどもエコクラブが工場見学(ほしふるまちのこどもエコクラブ:山口県下松市)
2025年11月19日	静岡新聞	棚田で育てた新米ぱくり 湖西市(今川こども自然クラブ:静岡県湖西市)
2025年12月30日	読売新聞	環境問題 劇で伝える(劇団シンデレラ:愛知県名古屋市)
2026年2月3日	高知新聞	西山さん連年の金 香美市エコクラブ全8人入賞(香美市こどもエコクラブ:高知県香美市)



毎日新聞 (2025.4.4)



茨城新聞 (2025.7.25)



高知新聞 (2026.2.3)



陸奥新報 (2025.6.18)



沖縄タイムス (2025.10.9)



読売新聞 (2025.12.30)



有明新報 (2025.10.10)



琉球新報小中学生新聞「りゅうPON!」(2025.4.13)

➤ ステークホルダーによる発信

地域事務局（自治体）や子どもエコクラブを支援くださっている企業団体からも、地域のクラブの活動の様子や支援内容等を発信いただきました。



どんぐりから育てた木たち、大きくあなれ！
竹の子エコクラブが
トラスト14号地に植樹
3/8日、役場近くのトラスト14号地（藤久保の平地林）で竹の子エコクラブが植樹を行いました。植樹が古く虫害による傷みが発生していた木々を伐採し、子どもたちがどんぐりから育てたクスギやコナフ40本を植樹。今後は隣接の平地林にも5年毎、段階的に伐採・植樹を行っています。

三芳町 広報みよし



岐阜市 クラブ募集チラシ



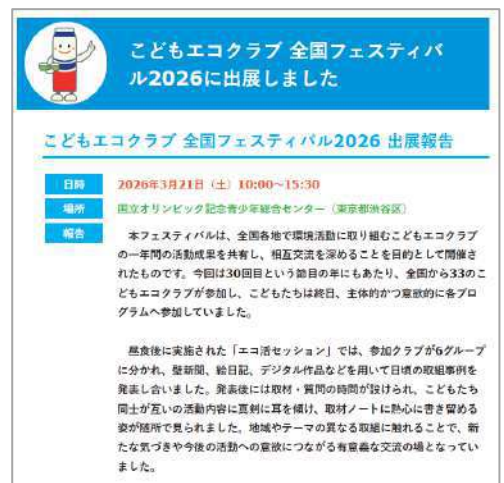
岡山県 エコ活作品募集チラシ



群馬県 ウェブサイト



株式会社タカラトミー ウェブサイト



全国牛乳容器環境協議会 ウェブサイト



合同会社ユー・エス・ジー ウェブサイト



アポクリート株式会社 ウェブサイト



こくみん共済 coop 〈全労済〉 ウェブサイト

➤ イベント等への出展・参加

自治体等が主催する環境イベントに参加・出展しました。こどもエコクラブの事業紹介や参加クラブのマッチングに加え、食を通じて脱炭素について考えるプログラムのワークショップなどを行って参加・登録を呼びかけました。

実施日	イベント名	主催者	内容
2025年8月6日～7日	環境省こども霞が関見学デー	環境省	あなたの「推し」のカレーを教えて！～カレーのレシピから食と環境について学ぼう～ 【ワークショップ】
2025年7月26日	大阪・関西万博「大阪ウィーク「いまこそ考える私たちの環境の未来」	大阪府	クラブによる活動紹介と環境の未来を考えた「おおさか環境宣言」 【参加および観覧クラブのサポート】
2025年9月25日	大阪・関西万博 今なら未来を変えられる！ 「FUTURE KID TAKARA」アニメ上映会	NHK エンタープライズ	クラブによる活動紹介とエコアクション宣言 【参加および観覧クラブのサポート】
2025年12月7日	ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2025	ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省	SDGsに関連づけた活動発表と紹介(登壇1クラブ、パネル展示2クラブ) 【参加クラブのマッチング】
2025年12月20日	第23回『まちの先生見本市！』新宿SDGsフェス 2025	NPO 法人新宿環境活動ネット	華麗なるクリスマスパーティを開こう！～クイズ「えらぶなら、どっち？」に挑戦～ 【ワークショップ】
2026年2月1日	第24回草津市こども環境会議	滋賀県草津市	こどもエコクラブ事業概要 【パネル展示】



環境省こども霞が関見学デー



ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2025



第23回『まちの先生見本市！』新宿SDGsフェス 2025

➤ 広報ツールの貸し出し

地域事務局（自治体）等に、広報ツール（前年度のエコ活コンクール作品、エコまる旗、エコまる着ぐるみ等）を貸し出しました（旗等：2ヶ所、エコまる着ぐるみ：2ヶ所、壁新聞 20ヶ所、スタッフジャンパー：1ヶ所）。





(2) こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児（3歳）から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人（サポーター）で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

2025年度の登録数は、クラブ数：2,446クラブ、メンバー数：95,466名、サポーター数：20,109名でした。クラブ数は弊協会自主事業となった2012年度以降の最大数となり、これまでの延べ登録メンバー数は約317万人となりました。

また、登録数の増加を目指し、以下のような取り組みを行いました。

➤ ポスター・パンフレットの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、チラシを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、チラシについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードできるようにしました。



左：ポスター 右：チラシ

また、持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development: ESD）を推進しているユネスコスクールをはじめ、こどもエコクラブの事業趣旨や類似の活動をしている団体やクラブにイベント情報等を紹介している施設・団体を通じてチラシ配布をするなど、積極的に登録を働きかけました。



加えて、子ども環境情報紙「エコチル」にこどもエコクラブにメンバー募集の広告を掲載し、当該紙面配布地域の小学生および保護者に登録を呼びかけました（広告掲載期間：2025年4月～2026年3月）。

➤ メンバーズバッジの自治体配布

希望する自治体に対して、こどもエコクラブメンバーの証であるメンバーズバッジを送付し、管下クラブに随時配布いただくことで、自治体とクラブとのコミュニケーションの一つとして役立てていただきました。

クラブメンバーに対しては、バッジを身につけることで、子どもたちの一体感醸成と活動のモチベーション向上を目的としています。



メンバーズバッジ

■ 環境活動・学習の活性化促進



(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向けコンテンツとして、環境省や地域別のイベント、助成金情報等の掲載を行っています。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターメール・マガジン」を月2回配信しています。

(2) 教材・プログラムの提供

➤ 手帳、エコカード等の配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳を希望するメンバーに実費頒布しました。また、小学校入学前のメンバーを対象としたツール「ぼくの/わたしのエコカード！」を希望する未就学児がいるクラブに送りました。エコカードにはSDGsのアイコンを追加し、保護者・保育者のSDGsに関する認知・理解の向上を促しています。

サポーター(大人)向けには、事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」(PDF)をウェブサイトに掲載し、随時ダウンロードできるようにしました。

➤ ウェブサイトを通じたデジタル教材の提供

子どもが楽しくチャレンジできる三択クイズを通じて、二十四節気の節目に天気や身近な自然環境に目を向け地域の気候変動の気づき促す「目指せ！こよみマイスター～二十四節気ハカセになろう～」を、ウェブサイトおよびSNS(Instagram)にて継続的に実施しました。また、気軽に取り組める環境活動プログラム「エコロジカルとれーにんぐ」についても、ワークシートをウェブサイトから随時ダウンロードできるようにしています。



サポーターメール・マガジン



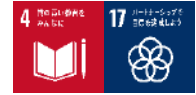
メンバー手帳



目指せ！こよみマイスター
～二十四節気ハカセになろう～

エコロジカルとれーにんぐ





➤ 多様な主体との協働プログラムの実施

企業・団体と連携した講座やプログラムを企画、協働により実施しました(カッコ内は連携・協働相手の企業・団体)。

【全国的なプログラム・活動】

● こどもエコクラブ 活動レポート推進キャンペーン

・「防災もしも会議～冬の陣～」(こくみん共済 coop)

家族や親戚と集まりやすい年末年始を実施期間として、寒い季節の防災についてみんなで話し合うプログラムを企画、全国のクラブに参加を呼びかけました。真冬の停電を想定して対策を立てたクラブや年末の大掃除を兼ねてローリングストックの賞味期限や置き方を見直したクラブなど、16 クラブ・241 人のメンバー・サポーターが冬の災害に備えについて考え、防災の重要性を再認識しました。

〈活動期間〉2025年11月26日(水)～2026年1月31日(土)

・「R R R」キャンペーン・リターンズ 2025 (塩ビ工業・環境協会)

3R 推進月間(10月)に、3R の取組みの促進を目的としたキャンペーンを昨年度に引き続いて実施しました。ペットボトルのラベルとキャップを分別したり、プラスチックごみについて考えたり、マイボトルを持ち歩いてごみを減らしたりなど、自分たちにできるR R Rの活動に31 クラブ・786 人のメンバーとサポーターが参加して循環型社会について考えました。

〈活動期間〉2025年9月12日(金)～年11月3日(月・祝)



防災もしも会議～冬の陣～

「R R R」キャンペーン・リターンズ 2025

【企業団体等と地域のクラブとが関わり合うプログラム・活動】

● プロントコーポレーション こどもエコクラブ 緑の活動 (プロントコーポレーション)

2016 年から継続的に全国各地のプロントコーポレーションの社員と当該地域のクラブとが協働した森林保全活動を実施しています。2025 年度は、5 月と 11 月に埼玉県で竹林整備や竹を使ったクラフトを行いました。また、自然観察を通して森林の生物多様性について学びました。





- 日の丸リムジン&こどもエコクラブ SDGs 森の活動（日の丸リムジン）

日の丸リムジンが新入社員研修の一環として実施している植樹活動に 2023 年度からこどもエコクラブも参加しています。2025 年度は前年と同じクラブが継続参加して、新たな植樹に加えて前回植樹した苗木の成長も確認しました。また、日の丸リムジンの SDGs の取組みとクラブの日頃の活動を紹介しあう時間では、双方ともたくさん質問があり、コミュニケーションがより深まりました。



- 『おそうじ自由研究ラボ 2025』～おそうじ革命のプロから学ぶ！掃除テク&SDGs～（KIREI produce）

KIREI produce のスタッフの方が掃除の研修をする「KIREI labo」を会場に、掃除と SDGs の関係について考え、環境に配慮した洗剤の選び方や汚れの性質に合わせた洗剤の組み合わせ方、効率的な掃除のテクニックを学ぶ体験プログラムを実施しました。夏休みの実施だったため、子どもたちが自由研究として活用できるワークシートを提供するとともに、家庭での「掃除のお手伝い」にチャレンジしてもらうよう働きかけました。



- 佐賀県限定プログラム 雑がみさまを探せ！（古紙再生促進センター）

お菓子やティッシュの紙箱や使い終わったメモ用紙に包装紙など、燃えるごみとして出してしまうがちな「雑がみ」を楽しく分別・回収に出すプログラムと専用ツールを、佐賀県のクラブ限定で提供いただきました。「雑がみ」がリサイクルできる大切な資源であることを楽しく学べただけでなく、佐賀県内のクラブ増にもつながりました。





(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック

➤ エールメッセージ

クラブから日々寄せられる活動レポートに対して、環境に知見のある弊協会のこども環境相談室・相談員より活動の発展につながるコメントやアドバイスを「エールメッセージ」として、投稿後 2 週間以内に送付しています。

2025 年度は 1,019 件の投稿がありました。

<活動レポートとエールメッセージの例>

竹の子エコクラブ (埼玉県) 活動日 : 2025 年 7 月 19 日

○柳瀬川に入ろう

柳瀬川に入って、タモ網で魚や川の生きものを捕りました。川の先生、エコシティ志木のみなさんに網の扱い方や捕るコツを教えてくださいました。岸边に生えている草の中に網を突っ込んで草を踏んで生きものを追い込みます。

小さいバケツに捕れた生きものを移しながら徐々にチャレンジ。川から上がったら、みんなの分を合わせてどんな生きものが捕れたか、エコシティ志木のみなさんが水槽や容器に分けて、解説してくれました。

<参加者のようす>

川に入るとなると気持ちがいいだろう！みんな夢中でした。川の水を足に受け、見上げれば広がる空。近くには野鳥やトンボ、アメンボ。毎日、信じられない暑さの連日で、7 月に野外活動なんて大丈夫なのかとサポーターとしては不安でしたが、みんなのようすに、やっぱり夏は川に入らなくちゃと思いました。生きものの解説を聞く時は、みんな真剣な眼差し。先生に聞きたいことがある人と言ったら、質問がどんどん出て頼もしいなと思いました。

<感想・気づいたこと・考えたこと>

この日に捕れた生きものは、マハゼ、モツゴ、ウキゴリ、シマドジョウ、カワリヌマエビ、スジエビ、ヤゴが 3 種類、ギンヤンマ、イトトンボ、ハグロトンボ、モノアライガイ、セスジスズメ 蛾(草の上に落ちていた)外来種はグッピー、カダヤシ、アメリカザリガニ。先生が言われるのには、護岸整備からぐっと種類や数は減ってしまったそうです。でも岸边の草は刈り残してありますし、草もだんだん伸びてきて生きものたちの隠れる場所が増えてきていると感じました。何故、熱帯魚が野生化しているのか。上流に下水処理場があり、その水を流しているのでも冬でも水温は 14℃くらいあると解説してもらいました。人の暮らしと密着している川。子どもたちも感じてくれることが多かったのではないのでしょうか。



○エールメッセージ



竹の子エコクラブのみなさん、こんにちは。報告をありがとうございます。

夏の盛りに川でガサガサ、最高に気持ちいいですね!!ここ数年はとんでもない暑さになってますが、夏しかできないお楽しみですから、十分な熱中症対策(ねっちゅうしょうたいさく)をしたうえでこれからも続けていきたいものです。

柳瀬川は一時期、生活排水(はいすい)が流れこんで環境の悪化が進みましたが、ボランティアの清掃(せいそう)活動などのおかげでまた生き物がもどってきたそうですね。みなさんが見つけたようにたくさんの生き物が観察できるようになったことは、各地で同じような活動をされている人たちにとってもはげみになると思いますよ。

次の報告も楽しみにしています!

➤ 壁新聞道場！

2024年度に提出された、1年間の活動をまとめた壁新聞全121作品に対して、環境に知見のある弊協会のこども環境相談室・相談員より、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを付し、「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました。地域事務局からのメッセージも併せて掲載しました。

＜壁新聞と「壁新聞道場！」でのコメント例＞

わくわくエコクラブ（岡山県）



★師範から一言！★

オオサンショウウオがいる川なのですね。私は図鑑やテレビでしか見たことがないので、2匹も見ることができた皆さんがうらやましいです。どれくらいの大きさでしたか？とてもきれいな川なのでしょうね。他にもたくさんの生き物が調査で発見されていて、私も一緒に調査をさせてもらいたいと思いました。「オオサンショウウオについて」も分かりやすくまとまっていますね。

川の調査の持ち物について、メンバーがハチに刺されてしまったことを教訓としてポイズン

リムーバーの持参を呼びかけているのは、とてもいいことですね。大きなケガをしてしまっは大変なので、これからも安全に気を付けながら川をきれいにする活動を続けていってくださいね。

★とっておきのゴシドウ★

みなさんはきっと、一年を通していろいろな活動をされているのだと思いますが、ふだんどういった活動をしているのが書かれているコーナーがあるといいなと思いました。そうした日々の取り組みが見えると、活動の背景や思いがより伝わって、読む人の興味や応援の気持ちも高まると思います。



【地域事務局からの応援メッセージ】

オオサンショウウオのことをたくさん教えてくれてありがとう。オオサンショウウオについていねいに調べてくれて、これからも生きられるように川をきれいに保つ大切さがわかりやすくまとめられて、オオサンショウウオを大切に思っていることが伝わってきました。大切な生き物が生きていけるような環境をみんなまで守っていけたらいいですね。（岡山県）

➤ 活動レポートグランプリ

クラブから日々投稿される活動レポートを活用したグランプリ（協賛：ケニス、共立理化学研究所）を3期に分けて実施・表彰して、活動報告の投稿を促すとともに、元気に活動する子どもたちの意欲向上を図りました。

<2025年度の受賞例>

● 『食べる』『食べられる』生きものたち
エコエコ楽しみ隊 (東京都)

◎ 活動日：2025年10月18日
◎ 実施場所：新豊島子公園
◎ 参加メンバー＆サポーター数：12人
◎ 活動の分野：◎ 自然・生物多様性
◎ SDGs：🌱

◎ 活動内容
子供のグループやトープにはたくさんの生きものがやってきて暮らしています。プール周囲の池に採集したヤゴや水の虫の生きものたち、学校ジオトープの池やマジャクンなどの観察しながら、生きものたちの『食べる』『食べられる』について学びました。
◎ 観察「自分語りもくもく」を聞き、生きものたちが食べたり食べられるたりしながら生きていくことを学びました。
◎ 子供のジオトープで生きものを観察し、一人ずつオタマジャクシケースにすくいで観察していただきました。
◎ ヤンヤンやシオカブトが、イトトンボの卵やアスマヒカエルのオタマジャクシをじゅわじゅわと食べている様子を見ることができました！
◎ 生きものたちの絵をスタンプしました。

◎ 参加者のようす
今日のメンバーは生きもの好きが多く、ヤゴやオタマジャクシを興味津々。ヤゴがアカムラを食べている姿（『どーして食べている！』）というので、お話を聞いてもらうと一生懸命聞いていました。

◆ 第3期子どもエコクラブ賞
エコエコ楽しみ隊（東京都豊島区）
『『食べる』『食べられる』生きものたち』



● 霧をつかまえてみよう
下妻子どもエコクラブ さんぽの楽校 (群馬県)

◎ 活動日：2025年11月10日
◎ 実施場所：近所の山んぼ道@茨城県下妻市
◎ 参加メンバー＆サポーター数：4人
◎ 活動の分野：◎ 自然・生物多様性 ◎ 分野その他
◎ SDGs：🌱

◎ 活動内容
朝、外が霧に包まれている様子を見た4歳の娘が「あの白い霧をつかまえて！」と興味を平手したため、道沿の霧を無言して霧の観察活動を行いました。1歳の子どもは足跡を残しながら霧を「つかまえる」試みを楽しみました。約10分間、全員を使って霧に遊びました。

◎ 参加者のようす
朝起きて窓の外の霧を見た時、娘は「あの白い霧をつかまえて！」と大興奮でした。そして「つかまえる」という言葉に反応して、足跡を残した4歳の娘の子どもも真似がっつりです。
4歳の娘は霧について水筒を見て「霧ってちびちびの水のつぶなんだ」と霧つつまみにしていました。また、「霧はいいにおいがする」と話すなど、五感を活かして観察していました。
さらに、霧で覆われた山脈を見て「クリスマスのかざりみたい」と想像するなど、自然物を身近なものにとらえる豊かな感性が見られました。1歳の子どもは足跡を残しながら積極的に参加し、自然とのふれあいを満喫していました。

◆ 第3期ケニス賞
下妻子どもエコクラブ さんぽの楽校
（群馬県下妻市）
『霧をつかまえてみよう』

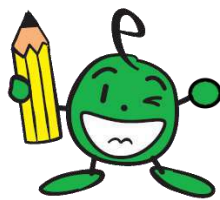


➤ 活動レポート新人賞

毎月1回、その月に初めて活動レポートを投稿してくれたクラブの中から抽選で1クラブに「活動レポート新人賞」を贈呈しました（協賛：日本WPA）。

活動レポートグランプリ及び新人賞は、より多くのクラブから活動レポートを投稿してもらうことをねらって実施しているものです。

今年度の投稿クラブ数は134でした。



● 10月の活動レポート新人賞発表！
2025.11.10 掲載

初めて活動レポートを投稿してくれたクラブに向けて、抽選で素敵な賞品をお送りしている「活動レポート新人賞」！
2025年度、10月の「活動レポート新人賞」に輝いたクラブは・・・
公園の散歩道周辺を探索したようすを報告してくれた『ふたば』さんです！

◎ 公開情報
2025年10月11日
◎ 実施場所：三幸公園の運動公園トリムコース
◎ 参加メンバー＆サポーター数：2人
◎ 活動の分野：◎ 自然・生物多様性 ◎ 真・短◎ RRR
◎ SDGs：🌱

◎ 活動内容
散歩道周辺の落ち葉遊び、歩道の周りに住んでいる生き物の観察。



(4) 企業・団体との連携および協働の推進

2025 年度も様々な企業・団体が主催するコンクール等をこどもエコクラブに提供いただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターや地域事務局にそれらの情報を発信し、子どもたちに参加を呼びかけました。

➤ アシストプログラム

パートナーになっていただいている企業・団体、地域事務局の自治体が有する環境学習教材やプログラム等を「アシストプログラム」としてウェブサイトで紹介、適宜クラブに案内しています。

■ アシストプログラム一覧（2026 年 3 月現在）

区分	団体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	タカラトミー	遊んで学べる「エコかるた」	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	しげるくんエコ大使	全国
	日本 C C S 調査	地球温暖化対策のスゴイ技術「CCS」を学ぼう！	全国
	日本 W P A	教科書ってどうやって作るの？～環境にやさしい水なし印刷のお話～(動画)	全国
	トヨタ自動車	節水について楽しく学ぼう！節水 BINGO カードの提供	全国
	JBRC	小型充電式電池がまるわかり！キッズアイランド	全国
体験・学習プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	トヨタ自動車	まなびと遊びの体験を紹介！（オンラインコンテンツ）	全国
各種コンテスト	ジーエス・ユアサ バッテリー	小学生 ECO 絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	ミツバチの一枚画コンクール	全国
	山田養蜂場	ミツバチの絵本コンクール	全国
	3R 推進フォーラム	3R 促進ポスターコンクール	全国
	サントリービバレッジソリューション	ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール	全国
体験・学習イベント	加山興業	ワークショップ「リサイクル素材でペンダントをつくろう！」@ EXPO2025	全国
	加山興業	里山の恵み◎シイタケの菌打ち体験会	工場の近隣地域
	KIREI produce(おそうじ革命)	おそうじ革命『おそうじ自由研究ラボ 2025』～おそうじ革命のプロから学ぶ！掃除テク&SDGs～	関東近郊
	トヨタ自動車	【こどもエコクラブ限定先行申込】キッズフリマ presented by TOYOTA	関東近郊
キャンペーン	JBRC	小型充電式電池リサイクルキャンペーン 2025	全国



➤ 他団体のイベント・コンテスト情報の提供

様々な団体が実施するイベントやコンテストの情報をウェブサイトやメールマガジンで発信しました。これらの情報提供はクラブに役立つだけでなく、主催する団体にこどもエコクラブのことを知ってもらいたい機会にもなっています（主なものを抜粋）。

掲載日	主催組織・団体	内容
2025年5月14日	環境省 生物多様性センター	いきものログ「種名調べ支援」
2025年5月19日	Green Blue Education Forum 実行委員会	Green Blue Education Forum コンクール 2025
2025年6月1日	コカ・コーラ教育・環境財団	第31回コカ・コーラ環境教育賞
2025年6月4日	朝日新聞	「地球教室」無料の教材と出張授業
2025年6月20日	日本水環境学会	2025年度「みじん子賞」「水環境文化省」
2025年6月20日	環境省・国土交通省	全国水生生物調査
2025年6月23日	福岡市科学館	「カガクミカタ展」無料招待
2025年7月1日	日本環境教育フォーラム	第42回 わたしの自然観察路コンクール
2025年7月2日	地球温暖化防止全国ネット	脱炭素チャレンジカップ 2026
2025年7月28日	グリーン購入ネットワーク	「夏休み自由研究向け特別企画」工場見学
2025年11月5日	日本環境教育学会	2025年度「まちのみんなに広がった私たちの環境アクション」

➤ ステークホルダーミーティングの実施

こどもエコクラブをご支援いただいている企業・団体、こどもエコクラブ事業に助言をいただいているアドバイザリーボード委員や熱心に活動している各地のクラブサポーターを対象に、オンラインにて「環境省 こどもエコクラブステークホルダーミーティング 2025」を実施しました。

「資源循環(サーキュラーエコノミー)」をテーマに、有識者によるご講演や国の取組み紹介、企業団体やクラブの事例発表を通じて意見交換を行いました。

【日時】2026年3月2日(月) 15:00~17:30

【主催】環境省、公益財団法人日本環境協会

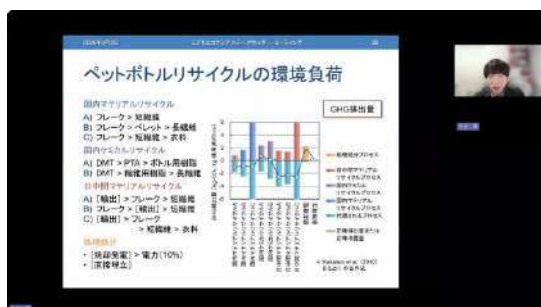
【主なプログラム】

・環境トピックス「エコって何だろう?『ライフサイクル』で考えよう」

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授 中谷 隼 氏

・企業の事例発表 「積水化学グループにおけるサーキュラーエコノミーをめざしたものづくり」 積水化学工業

・クラブの事例発表 「竹チップから未来へ」 SDGs 学ぶ隊 (兵庫県神戸市)



(5) ユース世代との連携

こどもエコクラブの OB・OG を中心に、環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、こどもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワーク「All Japan Youth Eco-club」や大学の環境活動サークルと連携し、こどもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

➤ 地域交流会・全国フェスティバルのサポート

前述した全国フェスティバルの運営サポートに加え、地域での交流会や環境イベントでも積極的に関わってくれ、クラブのケアや出展ブースでのファシリテーション等をサポートしてくれました。サポーターやブースを出展する企業団体の大人からもフェスで活躍するユースの頼もしさを伝える声が多数届き、次代を担う環境リーダーの育成を目指すこどもエコクラブ事業の成果と意義を感じていただけました。また、全国フェスティバルの合間にユースが集まる時間を設定して交流の場を提供、当時の活動の思い出やユースとして今後どんなことをしていきたいか等を話し合い、密なネットワークを促進しました。



ATC こどもエコクラブ交流会
(2025年11月 大阪府大阪市)



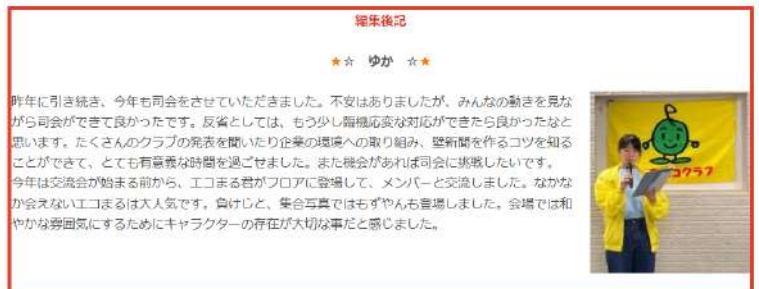
全国フェス 司会進行
(2026年3月 東京都渋谷区)



全国フェス ユース交流会
(2026年3月 東京都渋谷区)

➤ 「ユースが行く！」連載

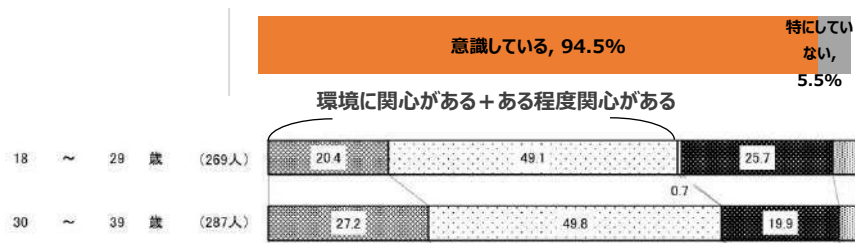
地域交流会や全国フェスティバルなどのサポートを通して感じたこと、心がけたことなどを報告する記事をユースに依頼、「ユースが行く!!」に掲載しました。



➤ 卒業生への環境意識等の調査

こどもエコクラブ 30 周年を記念して、こどもエコクラブの卒業生に対して現在のライフスタイルや環境保全への意識についてアンケート調査を行いました。またインタビュー可能な卒業生にはオンライン等にて対面インタビューを実施し、こどもエコクラブを通じて身に付いた力や大切だと感じていること、現在の環境への関わり等を直接伺いました。本アンケート結果やインタビュー内容は、2026 年度に事業成果として広く発信していく予定です。

【日常生活の中での環境への意識】



こどもエコクラブ卒業生

<参考>

内閣府 身近な環境(水辺、緑地、大気など)に関する世論調査(令和6年10月調査)より

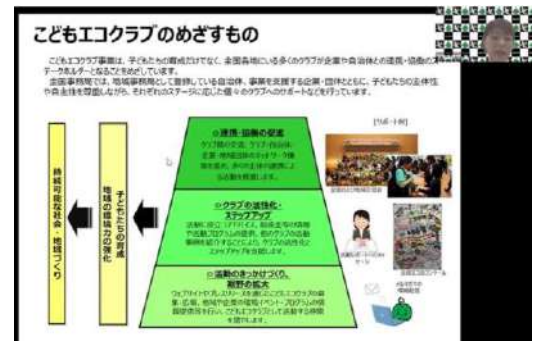
■ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ



(1) 地域の活動活性化に向けたサポート

➤ コーディネーター説明会

地域で活動するクラブにとって、一番身近な応援団となってくれるのが地域事務局の担当者（コーディネーター）です。年度が替わり新しく子どもエコクラブ担当となった方々を対象に、事業概要や全国の自治体でのサポート事例などをご紹介します。コーディネーター説明会を5月(2回)、6月(1回)にオンラインで実施しました。子どもたちの活動を見守り支援することで地域の環境活動の把握や環境施策を進める際のネットワーク作りにも役立つことをご紹介します。



➤ 自治体によるクラブ交流会・研修会・サポーターの会等の実施

地域事務局でも地域のクラブが集う交流会をはじめ、コーディネーター研修会やサポーター交流会等を多数開催いただきました。交流会に参加した子どもたちは、自分たちの活動や取り組みを発表したり地域の自然に触れたりすることで、地域の環境保全の大切さを実感するとともに自分たちの町や自然を大切に思う意識や活動へ意欲を高めていました。また、サポーター・コーディネーターにとっては自分たちの役割を再認識して今後のサポートへのモチベーションが高まる機会となっています。



埼玉県「SAITAMA 環境フェア & 子どもエコフェスティバル」



群馬県「子どもエコクラブ『おもしろ体験してみ隊』学習会」



岡山県「子どもエコクラブ環境学習会」



岩手県「子どもエコクラブ交流会」



札幌市「子どもエコクラブ交流会」



木津川市「子どもエコクラブサポーターの会」

(2) 全国規模での交流と顕彰

➤ 全国エコ活コンクール

こどもエコクラブをはじめ全国の環境活動を行う子どもたちのグループを対象に、子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を実施しました。

「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、子どもたちが作成した壁新聞・絵日記・デジタル作品を有識者、各省庁担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行い、壁新聞には環境大臣賞、文部科学大臣賞、日本環境協会賞、協賛企業賞を、絵日記・デジタル作品には優秀賞を選定しました。

■ 募集概要

- 募集期間：2025年10月1日～2026年1月9日（デジタル部門は16日）
- 対象：全国のこどもエコクラブ、環境活動を行う子どものグループ
- 仕様：壁新聞－模造紙大またはA2サイズ、縦横自由
絵日記－A3あるいはA4サイズ、縦
デジタル作品－動画3分以内またはパワーポイント8M以内

- その他：複数枚の応募可能

■ 募集結果（応募数）

- 壁新聞：106枚 ○ 絵日記：185枚
- デジタル作品：37作品

■ 審査結果

- 受賞作品 P.34 参照



壁新聞部門 環境大臣賞受賞作品

➤ アースレンジャー認定証の授与

1年間に5回以上の活動を報告したメンバー（1,210名：2026年3月末現在）に「アースレンジャー認定証」を作成し、授与しました。また、3年間継続活動をしているメンバー（211名）には銀バッジを、6年間継続活動をしているメンバー（78名）には、金バッジを授与しました。

また、30周年を記念して「認定証授与式」を実施、関東近辺のクラブが参加し、自分たちの1年間の活動を称え合いました。年度が替わっても、2025年度に活動したメンバーに対して引き続き授与していく予定です。



アースレンジャー認定証と金・銀バッジ

➤ 「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2026」の開催

各地域で展開している活動を子どもたち同士が紹介しあうことで環境人材の育成を図るとともに、環境保全活動の定着・拡大を目的として、全国フェスティバルを実施しました。全国エコ活コンクールにて選ばれた都道府県代表クラブ、各作品の受賞クラブ・受賞者等が参加し、子どもたちの活動発表・交流や環境に関する企業・団体展示ブースの見学と、同コンクールの表彰等を行いました。

■こどもエコクラブ全国フェスティバル 2026 ～未来へつなぐ★30年のエコアクション～

- 開催日：2026年3月21日（土）
- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）
- 主催：公益財団法人日本環境協会（こどもエコクラブ全国事務局）
- 後援：環境省、文部科学省、こども家庭庁、
独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益財団法人古紙再生促進センター、
公益社団法人こども環境学会、全国小中学校環境教育研究会、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 特別協力：こくみん共済coop〈全労済〉、タカラトミー、ミールケア
- 出展企業・団体：
 - 【ブース出展】（15団体）
 - NHK エンタープライズ、株式会社エフピコ、加山興業株式会社、コカ・コーラ教育・環境財団、
国立研究開発法人国立環境研究所気候変動適応センター、公益財団法人古紙再生促進センター、
佐川急便株式会社、株式会社ジャパンビバレッジエコロジー（リサイクル・プラザJB）、3R推進団体連絡会、
全国牛乳容器環境協議会、日本CCS調査株式会社、一般社団法人日本WPA、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、文化シャッター株式会社、エコマーク事務局
- 協力：All Japan Youth Eco-club、トヨタ自動車株式会社、パナソニックマーケティングジャパン株式会社、
目白大学、早稲田大学学生環境NPO 環境ドリグス
- 参加者：360名
 - ・都道府県代表クラブ：220名（子ども118名、大人102名）
 - ・絵日記受賞メンバー：12名（子ども7名、大人5名）
 - ・デジタル作品受賞クラブ：4名（子ども2名、大人2名）
 - ・一般来場者：16名
 - ・省庁、こどもエコクラブ自治体担当者、支援企業団体等 関係者：10名
 - ・出展企業・団体担当者：52名
 - ・ユースボランティア、スタッフ：46名





全国フェスティバルに際して、環境副大臣の青山繁晴様より、子どもエコクラブに「今後の皆さんの活動や発信力に期待しています」との温かいメッセージをいただきました。



(3) 他団体からの表彰



2025年度も、多くのクラブやメンバーがコンクール等で受賞・表彰されました。その一部をご紹介します。

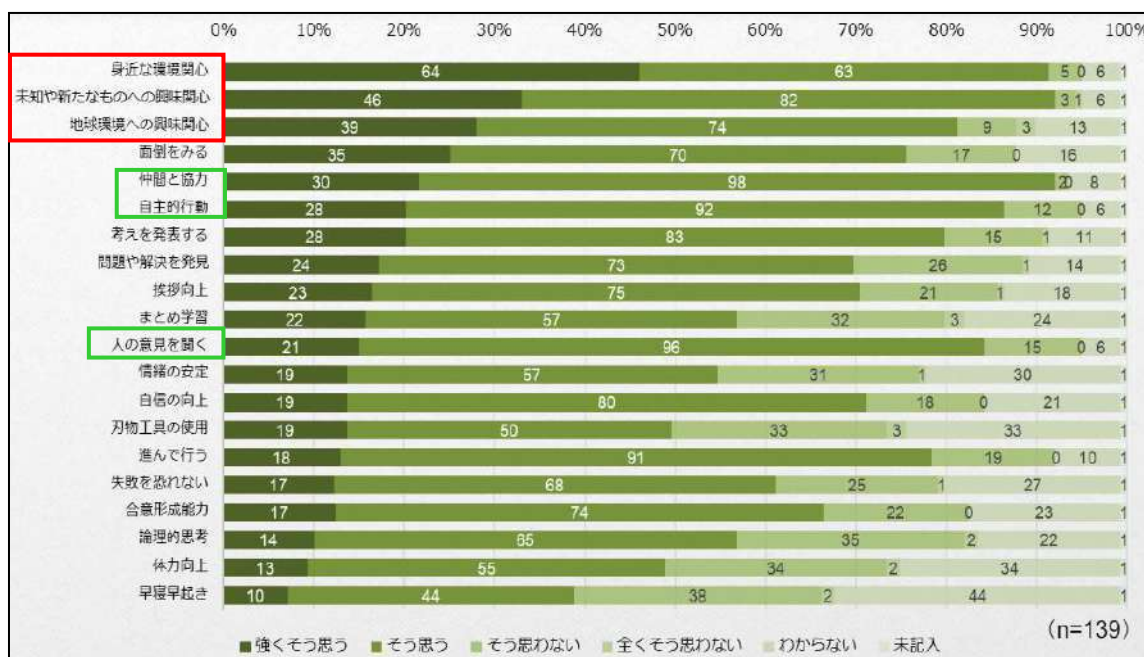
コンクール名／主催者	賞名	クラブ名
環境教育・ESD 実践動画 100 選／環境省	入選	学生団体 Rainbow だいやエコクラブ 子ども環境ラボ(Nature Center Risen)
第 31 回コカ・コーラ環境教育賞／コカ・コーラ教育・環境財団	活動普及部門 小学生 優秀賞 中学生 優秀賞 環境ハウス賞	プラネットリーダーズ山内エコクラブ 劇団シンデレラ NPO 法人環境ボランティアサークル亀の子隊
令和 7 年度長崎県環境保全功労者／長崎県	表彰	下里エコクラブ
第 30 回高知県文化環境功労者／高知県	表彰	香美市子どもエコクラブ
第 27 回「みどりの小道」環境日記コンテスト／グリーンクロスジャパン	個人の部 金賞・環境大臣賞ほか 各賞 団体の部 金賞ほか	香美市子どもエコクラブ 鹿児島市立西伊敷小学校エコクラブ 阿室小中学校エコクラブ
第 22 回夏のチャレンジ「全国小学生『未来』をつくるコンクール」／ベネッセ教育総合研究所	環境部門 大賞	逆川子どもエコクラブ
第 42 回 わたしの自然観察路コンクール／日本環境教育フォーラム	団体の部 入選	もとぶ元気村エコクラブ



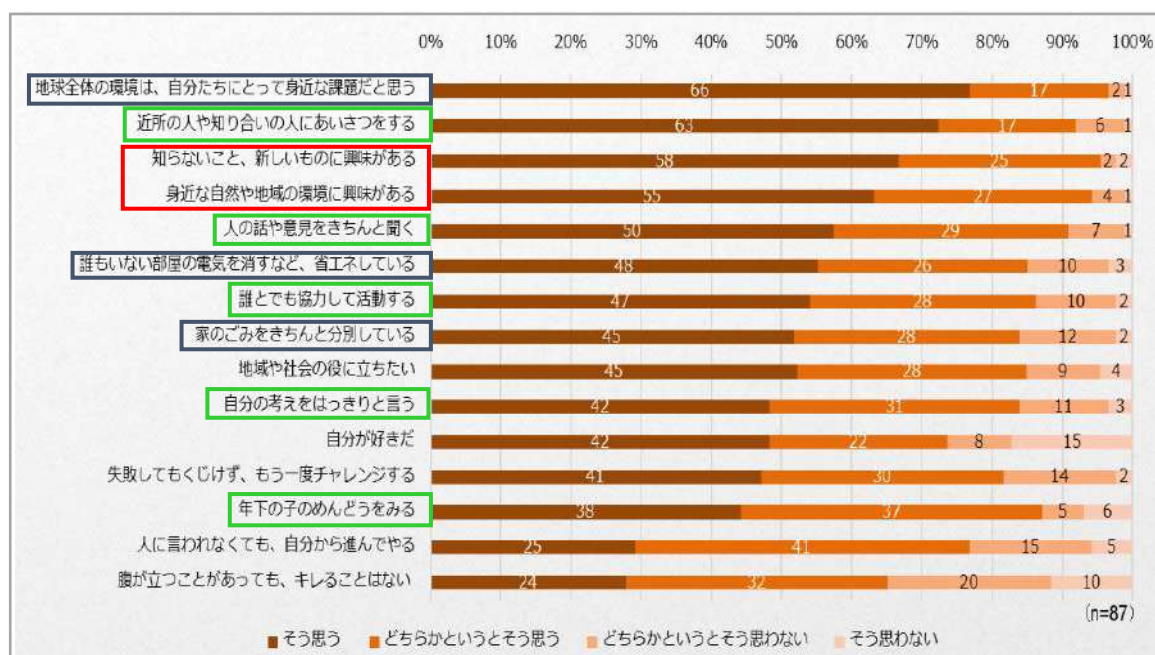
(4) アンケートによる子どもたちの成長の把握

クラブサポーター（大人）、メンバー（子ども）を対象にしたアンケートを毎年行うことで、活動を通して感じている子どもたち（自身）の成長ぶりを調査しています。環境への高い関心だけでなく、環境保全につながる行動変容が見られたほか、積極的な態度や自主的な行動力が育まれている様子や、環境問題を自分事として捉えていることが確認できました。

【サポーターアンケート結果より】



【メンバーアンケート結果より】



これらの結果を、こどもエコクラブ事業が「持続可能な社会に向けた人づくり」に貢献している成果として、対外的に広くアピールし、地域およびクラブの環境活動の活性化を推進してまいります。

地域事務局の取組事例

地域事務局(都道府県・市区町村)においても、さまざまな形で子どもエコクラブを推進しています。



(1) 子どもエコクラブの広報・登録促進

子どもエコクラブの紹介

子どもエコクラブの概要

子どもエコクラブとは、公益財団法人日本環境協会が主催する、幼児(3歳)から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。

千葉県環境社会推進課は、子どもエコクラブを応援する地域事務局の一つです。

クラブでは、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することで、子どもたちが人と環境との関わりについて考えるきっかけを作り、環境活動の輪を広げることが目的としています。

会員として主体的に活動に参加することができ、全日本事務局が提供する活動の場やプログラムを利用することもできます。

メンバー対象年齢
3歳から18歳(高校生はサポーター登録可)

千葉県 ウェブサイト

地球にいいことはじめよう! 「子どもエコクラブ」

●子どもエコクラブは、公益財団法人日本環境協会が運営する、誰でも参加できる環境活動のクラブです。

「子どもエコクラブ」に登録するだけで、自由に活動を始めることができます。※1人以上のサポーター(大人)が必要です。

●登録すると、活動に役立ついろいろな情報がメールで届くほか、自分たちの活動をウェブサイトで紹介することができます。

1年間に5回以上活動したメンバーは「アースレンジャー認定証」がもらえます!

●登録方法は、子どもエコクラブの登録用紙または、ウェブサイトでも登録しよう! くわしくは全国事務局または市町村の環境学習担当窓口で聞いてください。登録・年会費は無料です。

《子どもエコクラブウェブサイト》
<https://www.j-ecoclub.jp/>

愛知県 環境学習副読本

子どもエコクラブ参加者募集中!

子どもエコクラブは、3歳から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。自分たちの興味関心のある環境保全活動や環境学習を通して、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。

登録料、年会費は無料です。登録すると、活動中の事故に伴う賠償をサポートする「賠償責任保険」の対象となるほか、協賛企業から活動に役立つグッズの進呈などもあります!

子どもエコクラブアドバイザーキャラクター「エコまる」

福岡県 コミュニティ情報誌

子どもエコクラブに登録しませんか

子どもエコクラブとは、公益財団法人日本環境協会が主催する、幼児(3歳)から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。

千葉県環境社会推進課は、子どもエコクラブを応援する地域事務局の一つです。

クラブでは、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することで、子どもたちが人と環境との関わりについて考えるきっかけを作り、環境活動の輪を広げることが目的としています。

会員として主体的に活動に参加することができ、全日本事務局が提供する活動の場やプログラムを利用することもできます。

メンバー対象年齢
3歳から18歳(高校生はサポーター登録可)

青森市 ウェブサイト

地球にいいことはじめよう

「子どもエコクラブ」グループ募集!

「子どもエコクラブ」とは、3~18歳(高校生)なら誰でも参加できる環境活動のクラブです(グループ内に活動を支える20歳以上のサポーター一人以上必要)。人と環境の関わりについて理解を深め、自然を大切に思う心や環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の輪を広げることが目的としています。

子どもエコクラブに入ると...

- ・バッジやエコカードなど活動に役立つツールがもらえる
- ・活動報告をするともらえるスタンプを5個集めるとアースレンジャー認定証がもらえる
- ・自分たちの活動をPRができます

子どもエコクラブウェブサイト
@生活環境課 TEL.072-489-4514

阪南市 広報紙

地球のワクワク発見しよう! 子どもエコクラブの募集

子どもエコクラブとは、3歳から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。自分たちの興味関心のある環境保全活動や環境学習を通して、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。

登録料、年会費は無料です。登録すると、活動中の事故に伴う賠償をサポートする「賠償責任保険」の対象となるほか、協賛企業から活動に役立つグッズの進呈などもあります!

斑鳩市 広報紙

全国の地域事務局設置自治体の多くが、当該自治体のウェブサイト子どもエコクラブを紹介、メンバー募集を呼びかけています。

(2) 地域クラブのメンバー募集と運営

自治体でクラブを立ち上げ、管下の子どもたちを対象にメンバーを募集、年間を通して環境活動プログラムを実施しています。

あそエコ団

2025年度 活動メンバー募集

河川や緑地などでの自然体験を通じて環境を学びます。

年間4回程度(土・日曜日、祝日)
留市内在住・在学の小・中学生(小学3年生以下は保護者同伴)

①カニ山の自然をつかって遊ぶ場所をつくる
②野川を歩いて、水辺の不潔物を発見しよう
③緑の畑、農産物でご飯を作ってみよう
④カニ山で地図を使って探検(予定)

定員30人(多数抽選)
①無料(材料費など実費負担あり)
②企画・運営・野遊びくらぶ
③noasobichofu@gmail.com
④4月20日まで申し込みフォームから申し込み
※抽選結果は4月30日(納期)までにEメールで通知
⑤環境政策課 TEL.042-481-7086

札幌市

「調布子どもエコクラブ」

会員募集

河川や緑地などでの自然体験を通じて環境を学びます。

年間4回程度(土・日曜日、祝日)
留市内在住・在学の小・中学生(小学3年生以下は保護者同伴)

①カニ山の自然をつかって遊ぶ場所をつくる
②野川を歩いて、水辺の不潔物を発見しよう
③緑の畑、農産物でご飯を作ってみよう
④カニ山で地図を使って探検(予定)

定員30人(多数抽選)
①無料(材料費など実費負担あり)
②企画・運営・野遊びくらぶ
③noasobichofu@gmail.com
④4月20日まで申し込みフォームから申し込み
※抽選結果は4月30日(納期)までにEメールで通知
⑤環境政策課 TEL.042-481-7086

調布市

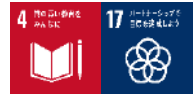
子どもエコクラブ 地球ウォッチングクラブ

子どもエコクラブとは、3歳から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。自分たちの興味関心のある環境保全活動や環境学習を通して、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。

登録料、年会費は無料です。登録すると、活動中の事故に伴う賠償をサポートする「賠償責任保険」の対象となるほか、協賛企業から活動に役立つグッズの進呈などもあります!

広島市

(3) 活動支援・活性化促進



➤ 地域版ニュースレターや活動報告書等の発行・配布



茨城県 活動報告書



栃木県 ニュースレター



群馬県 サポーターズニュース



北九州市 ニュースレター

➤ 交流会や環境イベントの開催



三重県 交流会

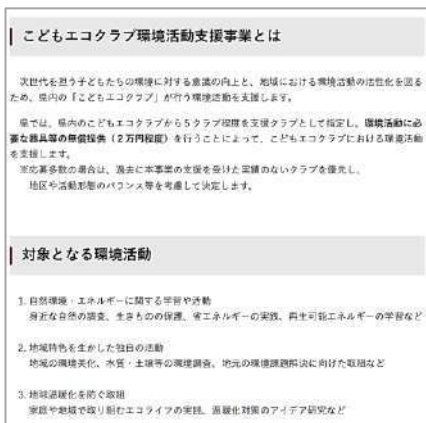


鯖江市 交流会

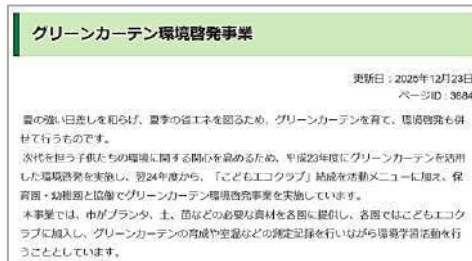


岐阜市 どもエコクラブ発足式

➤ クラブへの助成金・物品支援・講師派遣等



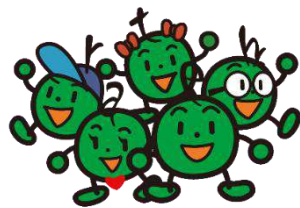
秋田県



高岡市



鳥取市



【自治体によるこどもエコクラブ支援事例（全国事務局にて把握しているもの）】

(1) 募集記事・ニュースレター・報告書の制作等	
募集記事・紹介記事	北海道、青森県、岩手県、秋田県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、長野県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、和歌山県、鳥取県、岡山県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、北海道函館市・釧路市・北見市、青森県青森市・八戸市、宮城県石巻市、福島県福島市、群馬県高崎市・桐生市・大泉町、茨城県ひたちなか市、埼玉県川越市・深谷市・久喜市、千葉県習志野市、東京都中央区・新宿区・練馬区・武蔵野市・町田市、神奈川県横浜市・相模原市・平塚市・茅ヶ崎市・大磯町、新潟県長岡市、富山県高岡市、福井県鯖江市、長野県長野市・飯田市、愛知県豊田市・犬山市・みよし市、三重県志摩市、京都府木津川市、大阪府大阪市、奈良県斑鳩町、鳥取県倉吉市、島根県松江市、岡山県倉敷市・井原市、山口県宇部市、福岡県春日市・大野城市、佐賀県佐賀市、長崎県佐世保市、宮崎県宮崎市、鹿児島県鹿児島市・阿久根市
活動報告書の発行・配付	秋田県、茨城県、群馬県、三重県、北海道函館市、埼玉県川越市・越谷市、福井県鯖江市
ニュースレターの発行	岩手県、栃木県、群馬県、新潟県、三重県、福岡県、福井県鯖江市、福岡県北九州市・春日市
(2) 講師派遣、物品・助成金等の提供	
クラブへの講師の派遣	岩手県、秋田県、茨城県、福井県、京都府、奈良県、高知県、福岡県、佐賀県、宮崎県、沖縄県、東京都練馬区、京都府木津川市
クラブへの物品提供 (バンダナ・帽子などのオリジナルグッズや壁新聞制作用の模造紙等。新規メンバーへのバッジ配布や地元企業等との連携含む)	秋田県、宮城県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、岩手県遠野市、福島県いわき市、栃木県宇都宮市、栃木県真岡市、埼玉県越谷市、千葉県市川市、東京都中央区・豊島区・武蔵野市、富山県高岡市、三重県伊勢市、兵庫県神戸市、福岡県大野城市
クラブへの助成金 (地元企業等との連携含む)	秋田県、栃木県、埼玉県、福井県、長野県、滋賀県、鳥取県、佐賀県、福井県永平寺町、静岡県藤枝市、鳥取県北栄町、山口県山口市
(3) イベント・展示会・交流会	
環境イベントの開催 (こどもエコクラブのみ対象)	岩手県、群馬県、大阪府、岡山県、埼玉県川越市、千葉県市川市、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、鹿児島県鹿児島市
環境イベントの開催 (一般も参加可能)	群馬県、埼玉県、三重県、滋賀県、福岡県、長崎県、北海道札幌市、群馬県高崎市・桐生市・伊勢崎市・太田市・沼田市・渋川市・安中市・みどり市・邑楽町・榛東村、東京都武蔵野市、神奈川県大磯町、滋賀県草津市、奈良県斑鳩町、高知県香美市、福岡県春日市
壁新聞・絵日記展示会の開催	秋田県、島根県、福岡県、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、滋賀県草津市
交流会・活動発表会の開催 (単独イベントまたは環境イベント内のプログラムとして)	岩手県、群馬県、埼玉県、三重県、滋賀県、大阪府、北海道札幌市、福井県鯖江市、静岡県富士市、岐阜県岐阜市、滋賀県草津市
(4) クラブの結成	
クラブの設立・運営 (自治体においてクラブを結成、メンバーを募集し環境活動を実施)	北海道札幌市・北見市、宮城県南三陸町、福島県福島市・会津若松市、茨城県龍ヶ崎市、栃木県宇都宮市、群馬県前橋市、埼玉県坂戸市、千葉県市川市・習志野市、東京都中央区・新宿区・荒川区・板橋区・調布市、神奈川県相模原市・鎌倉市、長野県岡谷市・飯田市、静岡県富士市、愛知県豊田市、三重県志摩市、滋賀県大津市、京都府木津川市、兵庫県たつの市、鳥取県米子市
連絡会の結成 (クラブ支援者である大人との情報共有)	群馬県、青森県弘前市、静岡県富士市、福井県鯖江市、京都府木津川市

ご支援いただいた企業・団体

本事業は、様々な企業・団体の皆さまの「パートナー」「寄附」等の支援・連携のもと実施・運営を行っております。

▶ パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）、寄附（67社）

朝日テクノ	さいかつ農業組合	長谷工コーポレーション
アドバコム	嵯峨野	パナソニックマーケティングジャパン
アフラック・アセット・マネジメント	さくら薬局グループ クラフト	バンダイナムコホールディングス
アフラック生命保険	産業環境管理協会	日の丸リムジン
アポクリート	CCCMK ホールディングス	ビー・エフ・シー
アマノ	ジーエス・ユアサ バッテリー	フォレストボックス
アントレックス	JBRC	ふくろうのはね
イオン 1%クラブ	ジャパンビバレッジエコロジー(リサイクルプラザ JB)	ブリヂストン
出光興産	住商フーズ	プロントコーポレーション
INNER ENERGY TECHNOLOGY	3 R・資源循環推進フォーラム	文化シャッター
SGホールディングスグループ(佐川急便)	3 R推進団体連絡会	マツキヨココカラ&カンパニー
エネラボ	全国牛乳容器環境協議会	ミールケア
エフピコ	積水化学工業	三井住友海上火災保険
塩ビ工業・環境協会	ターナー色彩	三菱地所レジデンス
加山興業	タカラトミー	三菱電機
共立理化学研究所	宝ホールディングス	メルカリ
キリン	鉄建建設	山田養蜂場
KIREI produce	東京国際フォーラム	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
グリーンクロスジャパン	トヨタ自動車	リード
ケニス	奈良健康ランド 奈良プラザホテル	リトルスタジオインク
コカ・コーラ環境・教育財団	日本C C S調査	龍角散
こくみん共済 coop〈全労済〉	日本W P A	
古紙再生促進センター	日本容器包装リサイクル協会	

■ 寄付（その他・個人）

- ・つながる募金
- ・メルカリ寄附
- ・READYFOR 継続募金
- ・リサイクル募金
- ・その他(個人およびこどもエコクラブ 7)



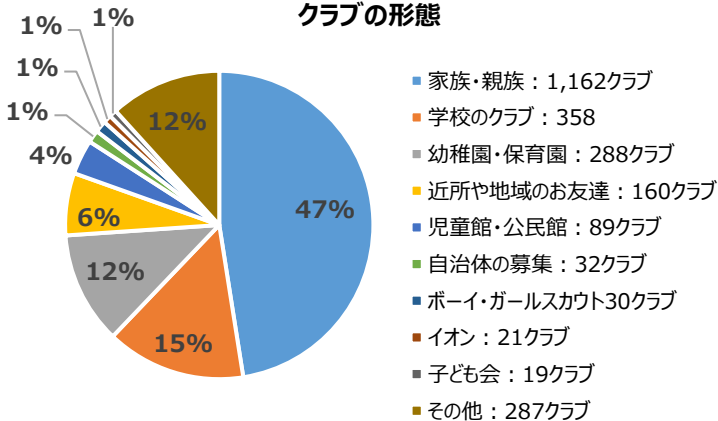
登録データほか

■ 2025 年度都道府県別登録データ

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	46	832	142
青森県	25	1,250	251
岩手県	31	552	124
宮城県	19	2,925	348
秋田県	42	3,234	623
山形県	3	4	5
福島県	9	316	62
茨城県	20	1,320	229
栃木県	23	1,674	432
群馬県	178	1,315	439
埼玉県	139	14,305	3,023
千葉県	71	1,718	318
東京都	410	7,783	1,257
神奈川県	174	1,736	593
新潟県	25	578	93
富山県	36	1,013	149
石川県	4	81	32
福井県	34	2,619	220
山梨県	5	155	19
長野県	21	510	188
岐阜県	31	1,096	141
静岡県	70	2,077	534
愛知県	47	1,982	320
三重県	61	8,129	3,219

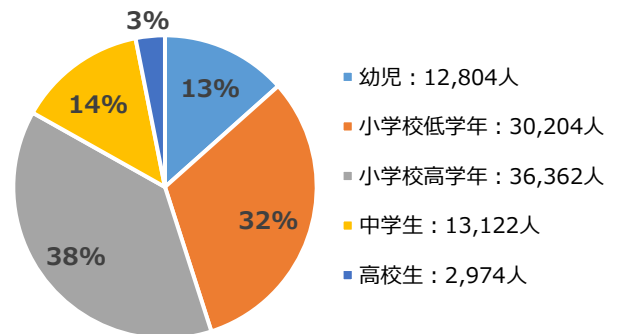
県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	39	4,880	450
京都府	13	317	71
大阪府	99	3,226	311
兵庫県	56	1,435	347
奈良県	10	131	51
和歌山県	5	154	20
鳥取県	30	3,151	1,113
島根県	8	143	81
岡山県	33	1,641	547
広島県	57	447	136
山口県	12	236	50
徳島県	3	132	7
香川県	5	44	22
愛媛県	6	39	12
高知県	9	58	48
福岡県	269	10,423	1,992
佐賀県	125	5,747	1,110
長崎県	21	814	121
熊本県	15	1,127	179
大分県	27	1,404	194
宮崎県	45	1,414	269
鹿児島県	20	1,073	152
沖縄県	15	226	65
合計	2,446	95,466	20,109

クラブの形態



合計：2,446 クラブ

メンバー学年内訳



合計：95,466 人

■ 2025年度地域事務局一覧（都道府県 47、政令市 20、市町村 473）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	三笠市	伊達市	石狩市	羽幌町		
青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						
宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町	
秋田県	秋田市	横手市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市	
山形県	酒田市	新庄市					
福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					
茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					
栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	那珂川町
群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	館林市
	渋川市	藤岡市	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町
	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町	大泉町		
埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	深谷市	上尾市	草加市	越谷市
	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市	富士見市
	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市	三芳町
	小川町	吉見町	寄居町	宮代町			
千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					
東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	葛飾区	江戸川区
	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	調布市
	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市		
神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市
	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市	寒川町	大磯町	

新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	新発田市	十日町市	糸魚川市
	妙高市	上越市	阿賀野市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	粟島浦村

富山県	高岡市	魚津市	砺波市
-----	-----	-----	-----

石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町
-----	-----	-----	-----	-----

福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町
-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

山梨県	甲府市	都留市
-----	-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	茅野市
	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町			

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町	垂井町	揖斐川町			

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲都市	犬山市	江南市
	稲沢市	日進市	東浦町	南知多町			

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	愛荘町
	多賀町						

京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市
-----	-----	-----	------	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	池田市	吹田市	泉大津市	高槻市
	守口市	枚方市	茨木市	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市
	和泉市	箕面市	高石市	東大阪市	交野市	阪南市	熊取町

兵庫県	神戸市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	相生市	加古川市	赤穂市
	宝塚市	篠山市	たつの市				

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					
島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市			
岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町		
広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市	
山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
	平生町						
徳島県	徳島市	阿南市					
香川県	高松市	東かがわ市					
愛媛県	松山市	今治市	西条市				
高知県	室戸市						
福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	行橋市
	小郡市	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	嘉麻市
	朝倉市	みやま市	宇美町	志免町	桂川町	香春町	苅田町
佐賀県	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市
	小城市	嬉野市	吉野ヶ里町	みやき町	玄海町	有田町	江北町
	太良町						
長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市	
熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	玉名市	山鹿市
	宇土市	上天草市	天草市	南小国町	益城町	山都町	芦北町
	あさぎり町						
大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市	
宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町			
鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	曾於市	霧島市	奄美市
	始良市	大崎町	瀬戸内町				
沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					

全国エコ活コンクール 受賞作品



■ 壁新聞部門

環境大臣賞



「だんぶり池の仲間たち」
HEP21(青森県弘前市)

文部科学大臣賞



「こどもサステナブル新聞」
だいやエコクラブ(長崎県佐世保市)

日本環境協会賞



「Let's 水みらい新聞」
スケッチ子供隊(宮城県仙台市)

こくみん共済 coop 賞



「未来へつなげ富士のめぐみと自然」
原田湧水クラブ(静岡県富士市)

タカラミー賞



「ひろげよう えがおのわたげ」
真岡児童館やさしクラブ(栃木県真岡市)

ミールケア・エコまる賞



「ゆきぐみ え〜こ・レンジャー新聞」
柱本保育園とも未来学会 え〜こ・レンジャー(大阪府高槻市)

■デジタル部門 優秀賞



「捨てない防災 ～アルファ米から始まる日常の備え～」
学生団体 Rainbow(栃木県栃木市)



こどもエコクラブ 30周年記念展示パネル「全国フェスティバル 30年のあゆみ」

こどもエコクラブ 30周年と全国フェスティバル 30回を記念して作成した、過去の全国フェスティバルを振り返るパネルを一部ご紹介します。

こどもエコクラブ全国フェスティバル 30年のあゆみ

30年前、こどもエコクラブ全国フェスティバルは「我々がクラブ」の交流が始まって、国策、オンライン、そして対面開催、五種一兼、ことごときの開催活動の積み重ね、仲間との出会いの学びを重層的に重ねてきました。30年の歩みを振り返ります。

これまでの開催一覧

1994年 (第1回)	東京都 東京都立大	2009年 (第14回)	千葉県 千葉県立大	2024年 (第28回)	東京都 東京都立大
1995年 (第2回)	東京都 東京都立大	2010年 (第15回)	東京都 東京都立大	2025年 (第29回)	東京都 東京都立大
1996年 (第3回)	東京都 東京都立大	2011年 (第16回)	東京都 東京都立大	2026年 (第30回)	東京都 東京都立大
1997年 (第4回)	東京都 東京都立大	2012年 (第17回)	東京都 東京都立大		
1998年 (第5回)	東京都 東京都立大	2013年 (第18回)	東京都 東京都立大		
1999年 (第6回)	東京都 東京都立大	2014年 (第19回)	東京都 東京都立大		
2000年 (第7回)	東京都 東京都立大	2015年 (第20回)	東京都 東京都立大		
2001年 (第8回)	東京都 東京都立大	2016年 (第21回)	東京都 東京都立大		
2002年 (第9回)	東京都 東京都立大	2017年 (第22回)	東京都 東京都立大		
2003年 (第10回)	東京都 東京都立大	2018年 (第23回)	東京都 東京都立大		
2004年 (第11回)	東京都 東京都立大	2019年 (第24回)	東京都 東京都立大		
2005年 (第12回)	東京都 東京都立大	2020年 (第25回)	東京都 東京都立大		
2006年 (第13回)	東京都 東京都立大	2021年 (第26回)	東京都 東京都立大		
2007年 (第14回)	東京都 東京都立大	2022年 (第27回)	東京都 東京都立大		
2008年 (第15回)	東京都 東京都立大	2023年 (第28回)	東京都 東京都立大		

1994年 (第1回) 東京都 東京都立大
 1995年 (第2回) 東京都 東京都立大
 1996年 (第3回) 東京都 東京都立大
 1997年 (第4回) 東京都 東京都立大
 1998年 (第5回) 東京都 東京都立大
 1999年 (第6回) 東京都 東京都立大
 2000年 (第7回) 東京都 東京都立大
 2001年 (第8回) 東京都 東京都立大
 2002年 (第9回) 東京都 東京都立大
 2003年 (第10回) 東京都 東京都立大
 2004年 (第11回) 東京都 東京都立大
 2005年 (第12回) 東京都 東京都立大
 2006年 (第13回) 東京都 東京都立大
 2007年 (第14回) 東京都 東京都立大
 2008年 (第15回) 東京都 東京都立大
 2009年 (第16回) 東京都 東京都立大
 2010年 (第17回) 東京都 東京都立大
 2011年 (第18回) 東京都 東京都立大
 2012年 (第19回) 東京都 東京都立大
 2013年 (第20回) 東京都 東京都立大
 2014年 (第21回) 東京都 東京都立大
 2015年 (第22回) 東京都 東京都立大
 2016年 (第23回) 東京都 東京都立大
 2017年 (第24回) 東京都 東京都立大
 2018年 (第25回) 東京都 東京都立大
 2019年 (第26回) 東京都 東京都立大
 2020年 (第27回) 東京都 東京都立大
 2021年 (第28回) 東京都 東京都立大
 2022年 (第29回) 東京都 東京都立大
 2023年 (第30回) 東京都 東京都立大

事業発足～5年間

1994年 (第1回) 東京都 東京都立大
 1995年 (第2回) 東京都 東京都立大
 1996年 (第3回) 東京都 東京都立大
 1997年 (第4回) 東京都 東京都立大
 1998年 (第5回) 東京都 東京都立大
 1999年 (第6回) 東京都 東京都立大
 2000年 (第7回) 東京都 東京都立大
 2001年 (第8回) 東京都 東京都立大
 2002年 (第9回) 東京都 東京都立大
 2003年 (第10回) 東京都 東京都立大
 2004年 (第11回) 東京都 東京都立大
 2005年 (第12回) 東京都 東京都立大
 2006年 (第13回) 東京都 東京都立大
 2007年 (第14回) 東京都 東京都立大
 2008年 (第15回) 東京都 東京都立大
 2009年 (第16回) 東京都 東京都立大
 2010年 (第17回) 東京都 東京都立大
 2011年 (第18回) 東京都 東京都立大
 2012年 (第19回) 東京都 東京都立大
 2013年 (第20回) 東京都 東京都立大
 2014年 (第21回) 東京都 東京都立大
 2015年 (第22回) 東京都 東京都立大
 2016年 (第23回) 東京都 東京都立大
 2017年 (第24回) 東京都 東京都立大
 2018年 (第25回) 東京都 東京都立大
 2019年 (第26回) 東京都 東京都立大
 2020年 (第27回) 東京都 東京都立大
 2021年 (第28回) 東京都 東京都立大
 2022年 (第29回) 東京都 東京都立大
 2023年 (第30回) 東京都 東京都立大

10周年～

2011年 第16回全国フェスティバル開催中会場の様子

16回 (第16回) 東京都 東京都立大
 17回 (第17回) 東京都 東京都立大
 18回 (第18回) 東京都 東京都立大
 19回 (第19回) 東京都 東京都立大
 20回 (第20回) 東京都 東京都立大
 21回 (第21回) 東京都 東京都立大
 22回 (第22回) 東京都 東京都立大
 23回 (第23回) 東京都 東京都立大
 24回 (第24回) 東京都 東京都立大
 25回 (第25回) 東京都 東京都立大
 26回 (第26回) 東京都 東京都立大
 27回 (第27回) 東京都 東京都立大
 28回 (第28回) 東京都 東京都立大
 29回 (第29回) 東京都 東京都立大
 30回 (第30回) 東京都 東京都立大

弊協会自主事業としてスタート

2017年 第22回全国フェスティバル開催中会場の様子

22回 (第22回) 東京都 東京都立大
 23回 (第23回) 東京都 東京都立大
 24回 (第24回) 東京都 東京都立大
 25回 (第25回) 東京都 東京都立大
 26回 (第26回) 東京都 東京都立大
 27回 (第27回) 東京都 東京都立大
 28回 (第28回) 東京都 東京都立大
 29回 (第29回) 東京都 東京都立大
 30回 (第30回) 東京都 東京都立大

20周年前後

全ての展示パネルのデータはこちらよりダウンロードできます。





公益財団法人日本環境協会

こどもエコクラブ全国事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5

TMMビル5階

TEL 03-5829-6359 E-mail j-ecoclub@jeas.or.jp